

コラーゲン・ゲル培養の方法

以下のA、B、Cの溶液を用意します。

A: Cellmatrix Type I – A または I – P

B: 10倍濃度の濃縮培養液¹⁾

C: 再構成用緩衝液

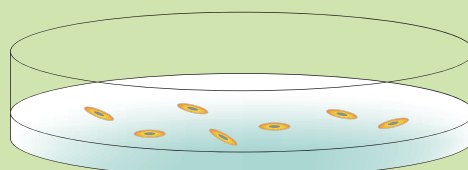
冷却しながら、A (8容量) とB (1容量) を泡立てないようによく混合します。
次に、C (1容量) を加えて混合します¹⁾。

¹⁾ 5倍濃度の濃縮培養液を使用される場合はA:B:C=7:2:1になります。

コラーゲン・ゲル上培養

冷却した上記コラーゲン混合溶液を培養皿に分注し、37°Cで30分間加温するとゲル化します。

細胞分散液をゲル上に播きます。
細胞がゲルに接着した後は通常の単層培養と同様に培養を行えます。



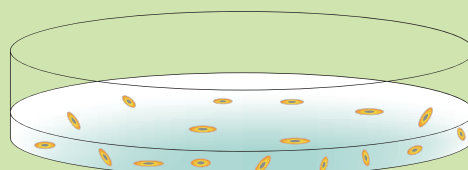
細胞をコラーゲンゲルの上で培養する方法です。

コラーゲン・ゲル包埋培養

冷却した上記コラーゲン混合溶液に遠心回収した細胞のペレットを加え混合します。

この細胞を含んだコラーゲン混合溶液を培養皿に分注し、37°Cで30分間静置しゲル化させます。

ゲル形成後、培養液を重層し、以後は通常の培養と同様にを行います。



細胞をコラーゲンゲルの中で三次元的に培養する方法です。

コラーゲン・コートの方法

Cellmatrix
Type I – C
または I – P

コラーゲンの
10倍量*の
pH3塩酸溶液

*目的に応じて希
釈率を調節して
ください。



ディッシュに希釈したコラーゲン溶液を加え、薄く塗り広げて余分なコラーゲンを吸い取ります。

クリーンベンチ内で乾燥させます。30～60分間静置して下さい。

コートしたディッシュを培養液で2回洗浄します。

以下、通常の単層培養と同様に行います。